



代表取締役社長 齋藤 竜太郎 (さいとう りゅうたろう)

Profile

1988年4月生まれ。32歳。大学卒業後、アメリカ留学、商社や印刷機器メーカーで勤務した後、祖父が興したニッカ電測株式会社に入社。2018年から現職。趣味は音楽鑑賞とサッカー。好きな言葉は「失敗しても後悔しないのはわかっていたが、たった一つ後悔したかもしれないのは、試さないことだ」(ジェフ・ベゾス)

TSR：企業コード 29-109614-0 所在地：〒350-1155 埼玉県川越市下赤坂710

TEL：049-266-7311 URL：<https://www.nikka-densok.co.jp>

事業内容：検査機器総合メーカー

一問一答

働く上で1番大切にしていることは？

「ワンマンではなく、ワンチーム」を大切にして、社員の声に耳を傾けるように心がけています。

御社のNo.1は？

お客様のご要望に合わせた、オンラインの検査機器をご提供すること。

新人時代の御自身に一言

今のうちにいろいろな経験を積み、先輩に怒られなさい。若いときの経験は将来きっと役立つから。

生活の安心・安全を守る 検査機器総合メーカー

検査機器製造業界を牽引

弊社は、食品や衣料品、医薬品などの生産現場で製品の不良をチェックするために使われるハイスペックな検査機器（金属検出機、重量選別機、ピンホール検査機など）を製造販売しています。時折、SNSやニュースで耳にする、異物混入や包装不良による出荷後の製品の回収。これらの事故を未然に防いで、皆さまの生活の安心・安全を支えるために、弊社の製品は必要不可欠なものです。

検査装置の製造販売はニッチな業界ですが、弊社は1955年の創立以来、リーディングカンパニーとして検査機器製造業界を牽引し続けています。現在、弊社の製品は日本国内のみならず、欧州、アジア、中東、アメリカ、アフリカ、オセアニアなどへも販路を広げており、全世界の生産現場の品質管理に貢献しています。

一点もの&高品質がモットー

弊社の大きな強みは、お客様のニーズに合わせてオーダーメイドの検査機器を製造していること。弊社の検査機器は、検査対象の重量や大きさなどに合わせてつくるため、機械で自動化することが難しく、ほとんど手作業で製品化しています。まさにonly one product = 一点ものなのです。

より良い製品を作るために、かゆいところに手が届くような営業活動を日々心掛けています。お客様の声を細かく汲み取り、信頼関係を構築することが他社には真似できない高品質な検査機器を作るための第一歩となるからです。



ワンフロアで風通しのよい社内環境です。サンリオのキティちゃんとコラボレーションして、ホームページも弊社の特徴が伝わりやすいようキャッチャーに刷新しました。

弊社は埼玉県の本社工場を拠点に、日本全国に5つの支社と世界6ヵ所に営業所があり、社員数は総勢約120名です。創立65年以上の老舗企業であります。風通しがよく、新しいことにチャレンジできる社風が弊社の長所です。

本社オフィスは、ワンフロアに営業本部、技術製造本部、管理本部、開発本部があるため、各部署間でのコミュニケーションがとりやすく、互いにサポートやフォローをし合って仕事を円滑に進めることができます。また、先輩後輩、上司部下が気兼ねなく相談しやすい環境が整っています。

グローバルな企業を目指して

一般的に、弊社のような検査機器製造業は男性の割合が多い仕事で、きつさや危険を伴う職場のイメージが強いかもしれません。弊社は、安定した環境でス

キルを磨ける職場環境に力を入れております。女性の登用を積極的に行っており、検査機器の製造では、小さな欠陥などを見落とさないように、丁寧で確実な作業が求められるため、細かな部分の作業ができる手先の器用さや慎重で細やかな心配りが必要とされます。検査機器の製造という仕事は、これらの女性ならではの特性を存分に活かして働く場になります。

今後は弊社の製品の販路を拡大すべく、海外でも特に開発途上国への営業力を強めていきたいと考えています。そのため語学に長けた人材も強く求めています。海外のお客様にも日本の「ものづくり」により生み出される製品や付加価値をこれまで以上に評価いただけるビジネスを目指してまいります。